



# 要約 サステナビリティ レポート 2024



サステナブルに価値を生み出す

2024年、VATはサステナビリティの取り組みにおいて大きな進歩を遂げました。まず、マレーシアの拠点では、エネルギー効率の向上とグリーンエネルギー供給の拡大に徹底して取り組んだ結果、スコープ1とスコープ2の炭素排出量を大幅に削減できました。また、女性の新規採用目標も達成し、公正で包括的な雇用主としてのVATの地位向上につながりました。

一方で、サステナビリティ委員会の設置や、サステナビリティの課題に取り組む常勤の専任リソースを増やしたことで、VATは組織としても進化しました。また、レジリエンスを強化し、社会や環境への悪影響を最小限に抑えるためのサステナビリティ戦略を策定しました。

この一年を通じて、私たちはサプライヤーやその他のステークホルダーと協力し、責任ある企業同盟（RBA）への加盟など集団的な行動を進めてきました。

このサステナビリティレポート2024で私たちの成果と今後の展望をぜひご覧ください。

本誌表紙の写真は、スイス・ハーグにある当社工場のフライス加工から出る金属廃棄物です。VATでは、金属廃棄物をプレスしてブリケットにすることで体積を90%削減し、リサイクル性を高め、金属廃棄物の損失を減らしています。2024年、VATは408トンのアルミニウム廃棄物をリサイクルしました（2023年は180トンでした）。

## 目次

サステナビリティに関する注目点	4
当社の事業	6
サステナビリティ戦略	7
人	8
地球環境	10
実績	12
ガバナンス	14
サステナビリティの目標	16

# サステナビリティに関する注目点

## サステナビリティに関する取り組みの管理

サステナビリティに関する取り組みを最高レベルの管理体制で戦略的に強化していくため、VATは2024年にサステナビリティ委員会を立ち上げ、サステナビリティに関するあらゆる事柄について指針を示し、その実施状況を監督しています。

## 気候変動

VATは、再生可能エネルギーの割合を90%以上に引き上げるといった目標に向かって順調に進んでおり、スコープ1と2の排出量において2022年比で50%削減するという目標をすでに達成しています。また、GHG排出強度（スコープ1と2）を68%削減し、再生可能エネルギーの割合は2023年の63%から2024年には86%に増加しました。

VATは昨年のGHGインベントリのデータに基づき、すべてのスコープを対象としたGHG総排出量のデータ収集を初めて実施しました。その結果、排出量の95%以上がスコープ3に属し、特に原材料仕入れと当社製品の使用段階に関連していることが明らかになりました。私たちはこの情報を、削減の道をさらに進めるための確かな基準値と解釈し、- Science Based Targets initiative (SBTi) への参加を2024年後半に決定しました。

## 包括的な職場

VATが2024年に採用した新入社員のうち、女性は28%を占めます。この数字は、新入社員の女性比率を2027年までに24%、2030年までに25%に引き上げるといった目標をすでに上回っています。

2023年に草の根運動として発足したeleVATe Equityは、VATに根付く誠実さとチームワークに対する情熱にも後押しされながら、全社的なジェンダー平等を推進する取り組みを続けてきました。このグループの取り組みは当社CEOにも直接支持されており、現在では四半期に一度ミーティングが開催され、社員が互いにネットワークを構築し、刺激し合い、支え合うための場として機能しています。2024年には70人以上の社員がこのミーティングに参加しました。

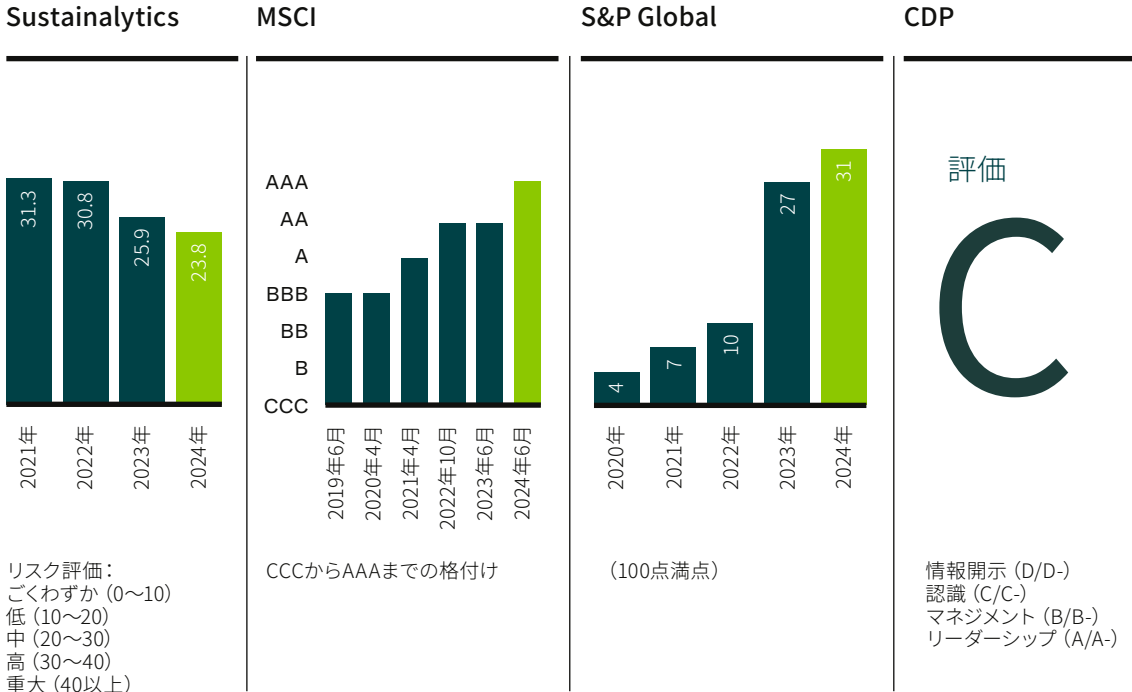
ジェンダー以外にも、年齢や文化的背景など、多様性に関する重要な側面も重視するVATでは、55カ国の国籍の社員が働いています。

## 人権

2024年、VATはRBAに賛助会員として加盟しました。これは、私たちの職場が安全で健康的な環境であること、私たちが人権と労働者の権利を尊重すること、当社製品から紛争鉱物を排除すること、そして私たちの事業をさらに環境に優しいものにしていくことを目指している当社の姿勢の表れです。もちろん、当社と取引のあるサプライヤーがこれらの基準を遵守しているかについて、積極的にモニタリングすることも私たちの責任です。それを念頭に置き、2025年までに少なくとも90%、2026年には100%のサプライヤーがVATのサプライヤー行動規範に署名することを目指しています。

会長およびCEOの声明については、サステナビリティレポート完全版の2~5ページをご覧ください。

サステナビリティに関する評価とメンバーシップ



業界団体への参加

- 

Semiはマイクロエレクトロニクス分野で主導的役割を果たしている業界団体で、会員企業の事業成長に向けた支援だけでなく、業界が世界的に抱える課題への取り組みも支援しています。

---

- 

SwissMEMは、スイスのテクノロジー産業における中小企業と大企業が参加する業界団体です。

---

- 

半導体気候関連コンソーシアム (SCC) は2022年に設立されたアライアンスで、気候変動問題に焦点を当てるとともに、加盟企業の事業やバリューチェーンの他の部分で温室効果ガス排出を削減するための業界の取り組みを加速させることを目的としています。VATはこの目的に賛同し、SCCの設立メンバー企業として参加することを決定しました。

---

- 

RBAは、自社のサプライチェーンにおいて社会的、環境的、倫理的慣行の改善に取り組む企業が参加する、業界をリードするイニシアチブです。

---

- SBTi**

SBTiは、パリ協定に従って地球温暖化を抑制することを目指し、気候科学と足並みをそろえた温室効果ガス (GHG) 排出削減目標を設定する企業を支援する、世界的に認められたイニシアチブです。

## 当社の事業

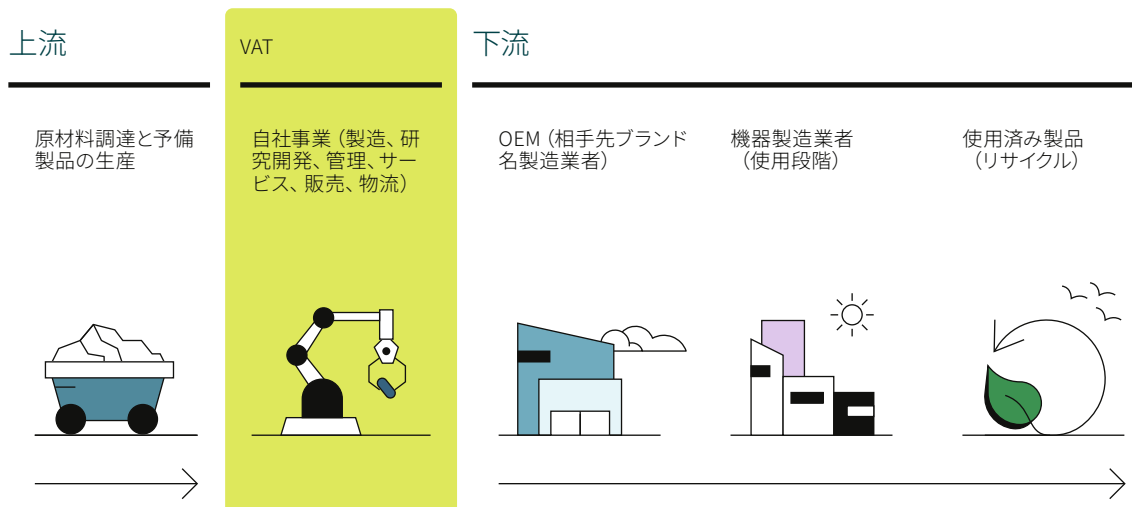
私たちVATは、半導体や太陽光電池、デジタルディスプレイ、その他の工業用途および研究用途向け製品の製造に使用される、高度な真空バルブを提供する世界有数のサプライヤーで、バルブ部門（半導体事業部門と先端工業事業部門）とグローバルサービス部門の2つの部門で構成されています。

社員数は約3,000人で、スイスに本部を置き、マレーシアとルーマニアに製造拠点が 있습니다。また、米国、欧州、アジアに販売・流通拠点が 있습니다。当社の大口顧客の多くは主要な生産拠点をアジアに置いていますが、欧州と米国が重要な拠点であることに変わりありません。お客様の近くに拠点を置くことで、輸送コストとそれに伴う環境への影響を抑え、顧客関係や市場シェアの拡大につなげています。

### 成長を牽引する世界的動向

デジタル化はVATにとって最も重要な動向の一つです。高性能で強力なチップの需要が高まるなか、新たな製造ツールへの投資も増加し、それとともに真空バルブの必要性も高まっています。それと同時に、ノードサイズが3ナノメートル以下の、これまで以上に強力でエネルギー効率の高いチップを製造するためには、必然的にプロセスステップの増加や製造純度の向上が求められ、プロセスチャンバー内での時間も長くなるため、高性能のバルブが必要になります。また、人工知能(AI)を利用した新たな用途が登場していることも、高性能半導体に対する需要拡大につながっています。その他にも、太陽光発電パネル、電気自動車、原子力発電施設の製造プロセスや、将来の核融合発電の研究など、再生可能エネルギー分野の発展もVATの成長を後押ししています。

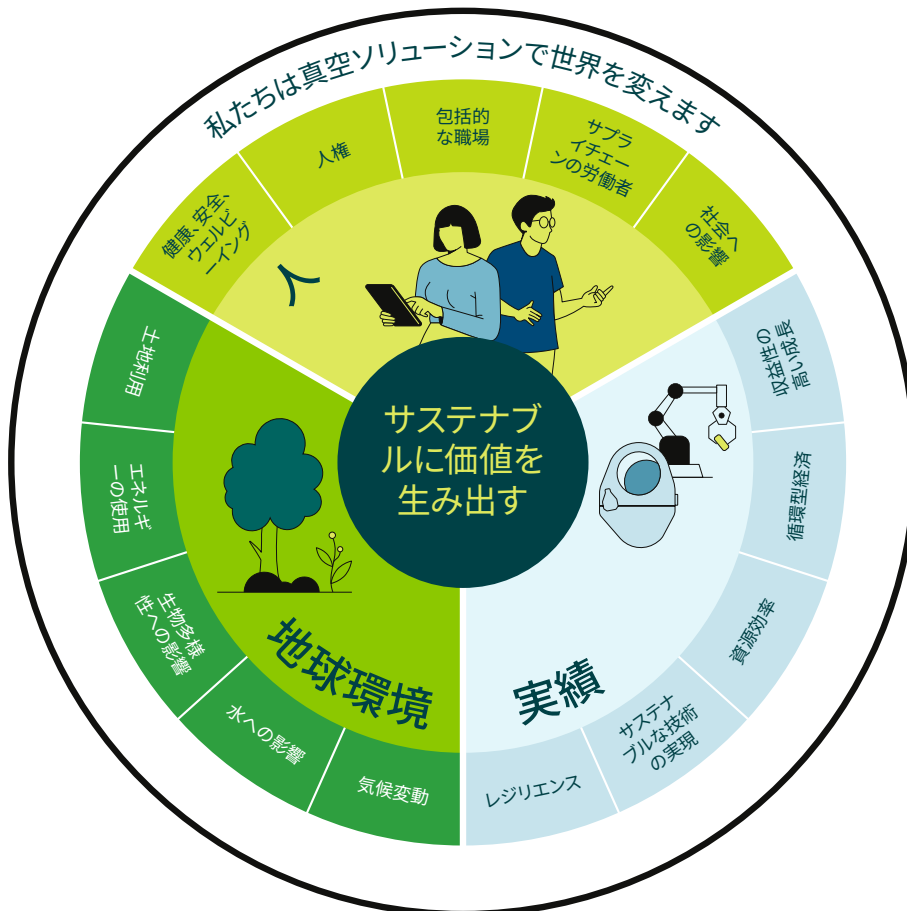
## VATのバリューチェーン



# サステナビリティ戦略

VATは自社製品の品質や性能だけでなく、私たちが環境や社会へもたらす影響にも責任を持って取り組んでいます。それは、当社に直接関係する影響であることもあれば、当社のバリューチェーンに間接的に関係する影響であることもあります。リスクに対処するために時代に敏感であり続けることは、VATが掲げるサステナビリティ戦略のもう一つの重要な側面です。それと同時に、サステナビリティは価値創造、革新、成長のための重要な戦略的機会であると私たちは考えます。そして最後に、サステナビリティはVATの企業文化に合致する概念であり、VATを特徴付ける4つの情熱、すなわち誠実さ、チームワーク、顧客中心主義、イノベーションとして体现されています。

当社にとって2024年は、人、地球環境、実績という3つの重要な柱を中心に構築されたサステナビリティフレームワークをさらに強化した一年でした。人は社会的側面、地球環境は環境的側面、そして実績は経済的側面を表しています。これらの分野に取り組むことで、VATの財務実績とレジリエンスも強固になります。このサステナビリティ戦略は、2022年に実施されたダブルマテリアリティ評価 (DMA) に基づくもので、今後数年間のサステナビリティ目標の更新内容も含まれています (13~14ページを参照)。



## 人

VATの社内では、ジェンダー、人種・民族的背景、性的指向、身体的・精神的障害、年齢、宗教、社会経済的背景を問わず、すべての社員が自分らしくいられる多様で包括的な作業環境が育まれています。私たちは、包括的で多様性のあるチームこそが生産性と創造性を高め、革新的なアイデアを生み出せると信じています。社外に対しては、サプライチェーン全体が同じ倫理基準の下で行動する仕組みを確立することで、労働者の権利を保護しています。また、当社が事業を展開する地域社会や、社会全体への好影響を高めるための取り組みも行っています。

## 人材管理

私たちは責任ある先進的な雇用主として、仕事の提供だけでなく、キャリアアップや自己啓発の機会の提供にも力を注いでいます。VATにはさまざまな人材育成・トレーニングプログラムがあり、社員が最大の可能性を発揮できるよう支援しています。その一例として、2023年にマレーシアで独自の実習生トレーニングセンターを立ち上げ、2024年には第2期の実習生を8人迎えました。

## 健康、安全、ウェルビーイング

VATは労働災害や職業病の防止に努めています。2024年の労働災害は38件で、前年比ではわずかに増加しましたが、長期的に見ると減少傾向が続いています。それに伴い、休業災害 (LTA) /1,000フルタイム当量 (FTE) の指標も低下し、2024年の目標である14人未満を達成しました。

2024年には継続的改善プログラム (CIP) を通じて2,500件以上の提案が社員から提出されました。職場の健康と安全に対する意識を高めるこの取り組みは、来年以降も継続していきます。

## サプライチェーンにおける人権と労働者

2024年、VATは一次サプライヤーを対象に42件の監査を実施し、サプライヤーの人権・労働に関する慣行、環境活動、および企業倫理を把握するための試験的なプログラムを開始しました。エレクトロニクス分野では、特に管理の目が行き届かない一次サプライヤーより下層のサプライチェーンにおいて児童労働の潜在的リスクが残っています。そのた

	2024	2023	2022
死亡事故件数	0	0	0
休業災害件数	38	32	49
休業災害による損失日数	560	517	327
休業災害あたりの平均損失日数	15	16	7
休業災害/1,000人当たり (正社員換算) (率)	12.9	13.4	16.4
休業災害発生率/100万時間当たり (率)	7.1	6.4	10.6
記録可能な業務上の健康障害の件数	0	0	0
データカバー率 (対象社員に占める割合)	95%以上	95%以上	95%以上



め、VATはサプライチェーン全体のトレーサビリティと透明性の向上に継続的に取り組んでいます。2024年、VATは責任ある鉱物調達イニシアチブ（RMI）に加盟し、責任ある鉱物調達への取り組みを強化しました。

### 包括的な職場

VATが2024年に採用した新入社員のうち、女性は28%で、すでに2027年と2030年の目標を上回っています。また、私たちは賃金の透明性と平等性（ジェンダーを問わず同一労働同一賃金）にも取り組んでいます。この取り組みは、VATスイスのFair-ON-Pay+認証の更新を通じて評価されました。社員のエンゲージメント向上と女性活躍推進に向け、さまざまな取り組みが行われています。詳しくは、サステナビリティレポートの46～50ページをご覧ください。ジェンダーの多様性を越えて文化的にも豊かなVATの職場には、50カ国以上の国籍の社員が働いています。国籍別に見ると、上位3カ国はマレーシア（30%）、スイス（14%）、オーストリア（13%）となっています。

### 女性新入社員の割合

# 28%

2023年：24%

目標値：2030年までに25%

### 社会への影響

VATは自社の枠を超え、社会にも好影響を与えられるよう責任を持って取り組んでいます。教育プログラムや社外社会活動、後援事業など、私たちはさまざまな取り組みを先頭に立って進めています。2024年には600人以上のVAT社員が社会貢献活動に参加しました。これは、私たちの情熱である誠実さとチームワークの表れです。

VATの取り組みの事例について、詳しくはサステナビリティレポートの51～52ページをご覧ください。

### 国別の社員数<sup>1</sup>

	正社員	パートタイム社員	有期雇用社員
欧州	1,659	135	52
うちスイス	1,299	117	52
うちルーマニア	337	15	0
アジア	1,090	0	26
うちマレーシア	877	0	25
その他の地域	65	0	0
<b>小計</b>	<b>2,814</b>	<b>135</b>	<b>78</b>
<b>2024年の正社員とパートタイム社員の合計</b>	<b>2,949</b>		
<b>2023年の正社員とパートタイム社員の合計</b>	<b>2,677</b>		

1 この数値は2024年末時点のものであり、年間を通じて、より多くのパートタイムおよび臨時従業員が雇用されていた可能性があります。

## 地球環境

私たちが最優先課題として取り組んでいるのは、気候変動リスクを軽減し、さらにVATが環境に与える影響も軽減する対策を実施することです。そのために、気候変動を抑制するために、当社の拠点だけでなく、バリューチェーン全体でもCO2排出強度を低減することを第一の環境目標に掲げています。さらに、水やエネルギー、土地など、資源の使用効率を高める努力も続けています。

### 気候変動

2024年にVATが消費した水の量は、絶対量と原単位の両方で増加しました。その消費量のほとんどは部品の洗浄プロセスに関連しており、工場の生産量に比例しています。水ストレスの高い地域にVATの製造拠点はありますが、水不足は世界的に深刻化しています。以前から大量の水を消費してきた半導体産業とも特に関わりの深いVATは、節水の重要性を十分に認識しています。

### スコープ1、2、3の総GHG排出量

単位: t-CO <sub>2</sub> e	2024	2023	2022
スコープ1	1,449	1,061 <sup>1</sup>	1,219
スコープ2 (市場ベース)	1,106	6,351	12,351
スコープ3	451,553	369,895	-
スコープ1、2、3の総GHG排出量	454,108	377,306	-

<sup>1</sup> 2023年のスコープ1の公表値1,067トンから計算を修正。

### 排出原単位

単位: CO <sub>2</sub> eトン/純売上高 (百万スイスフラン)	2024	2023	2022
純売上高	942.2	885.3	1,145.5
スコープ1および2 (市場ベース) の排出強度	2.71	8.37	11.85
総GHG排出強度	481.97	426.19	-

単位: CO <sub>2</sub> eトン/受注高 (百万スイスフラン)	2024	2023	2022
受注高	1,033.3	691.9	970.9
スコープ1および2 (市場ベース) の強度	2.47	10.71	13.98
総GHG排出強度	439.47	545.32	-

## 水への影響

2024年にVATが消費した水の量は、絶対量と原単位の両方で増加しました。その消費量のほとんどは部品の洗浄プロセスに関連しており、工場の生産量に比例しています。水ストレスの高い地域にVATの製造拠点はありますが、水不足は世界的に深刻化しています。以前から大量の水を消費してきた半導体産業とも特に関わりの深いVATは、節水の重要性を十分に認識しています。

## エネルギーの使用

2024年にVATが消費したエネルギーの量は、当社の事業活動が好調であったことと比例して、絶対量でも相対量でも増加しました。それは当社の売上高にも表れており、在庫における半製品および完成品も20%以上増加しました。

詳しくは、サステナビリティレポートの54～65ページをご覧ください。

## エネルギー消費量 - 生産拠点

単位: キロワット時 (kWh)	2024	2023	2022
スイス	20,494,087	17,216,478	21,827,709
ルーマニア	3,757,690	3,779,620	4,125,601
マレーシア	17,017,696	15,491,943	19,490,740
<b>総エネルギー消費量 - 生産拠点</b>	<b>41,269,472</b>	<b>36,488,041</b>	<b>45,444,050</b>

## エネルギー強度

	2024	2023	2022
収益 (百万スイスフラン)	942.2	885.3	1,145.5
<b>エネルギー消費量 (kWh) / 収益 (百万スイスフラン)</b>	<b>43,801</b>	<b>41,215</b>	<b>39,672</b>

## 実績

私たちは資源効率、循環性、サステナブルなイノベーションのメリットを活用し、価値の創造と事業の成長を続けていくことを目指しています。また、製品設計の早い段階からサステナビリティの基準を取り入れることで、お客様に優れたソリューションを提供し、ビジネスチャンスを生み出す努力を続けています。

### 収益性の高い成長

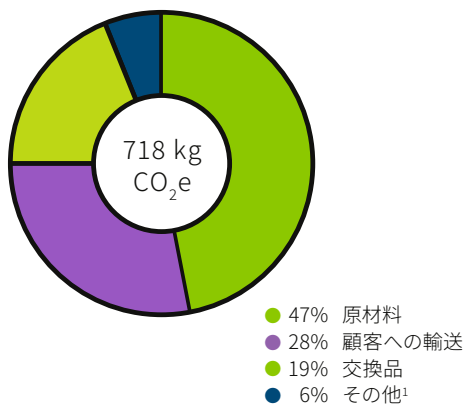
2024年、私たちはバルブ10.8とバルブ65.3の環境製品宣言 (EPD) に向けた情報を得るために、ライフサイクルアセスメント (LCA) を実施しました。10.8バルブの環境フットプリントでは原材料の割合が最も高く、65.3バルブの環境フットプリントでも2番目に高いことがわかりました。しかし、65.3バルブのカーボンフットプリントの大部分は、ヒータのエネルギー消費による使用段階で発生するものです。エネルギー効率の高い製品を製造するこ

とで、使用段階での排出量を削減することができ、それはお客様のエネルギー節約にもつながります。また、どちらのバルブにおいても、環境に与える影響が3番目に大きかったのは輸送でした。この結果を受けて、私たちは物流ルートを改善し、できるだけお客様の近くで製品を製造するための措置を講じています。

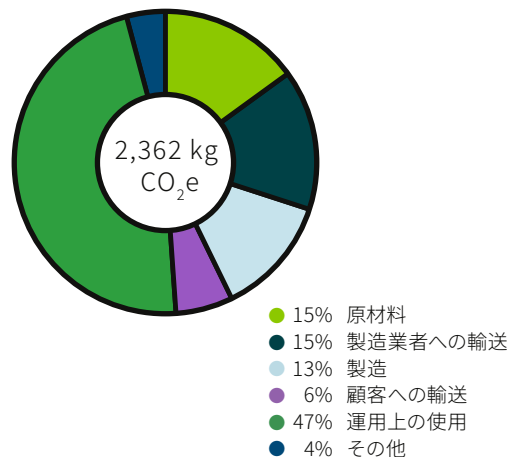
### 循環型経済と資源効率

VATは廃棄物の削減、リサイクル、適切な廃棄方法を優先することで、エコロジカルフットプリントを最小限に抑え、資源を節約し、循環型経済を推進しています。現在、当社の製造プロセスで発生する金属スクラップは100%リサイクルされています。また2024年にはマレーシアで、事務業務から出る廃棄物のリサイクルプログラムの実施段階を開始しました。

製品カーボンフットプリント  
10.8ゲートバルブ



製品カーボンフットプリント  
65.3コントロールバルブ



<sup>1</sup> 製造業者への輸送、製造、運用上の使用を含む

### サステナブルな技術の実現

VATはあらゆる産業において、サステナブルな技術の開発と拡大を推し進める中心的存在になることを目指しています。当社の真空バルブは、スマートグリッドでのエネルギー貯蔵や電気自動車の運転、工業プロセスにおけるエネルギー資源効率の改善に必要な半導体の製造などにおいて、重要な役割を担っています。また、VATの技術は原子力発電の分野でも活用されています。核融合の研究開発にも積極的に取り組む私たちは、今後数年間でこの地位をさらに強固にすることを目指しています。

### 情報セキュリティ

2023年、VATはサイバー防衛の専門チームを設立し、組織内の情報セキュリティ対策を支援することを目的とした補足的な方針とガイドラインを導入しました。さらに、サプライチェーン業務に円滑に統合できるように、サードパーティサイバーリスク管理 (CTPRM) に関する戦略と方法論を開発しました。

詳しくは、サステナビリティレポートの66~74ページをご覧ください。

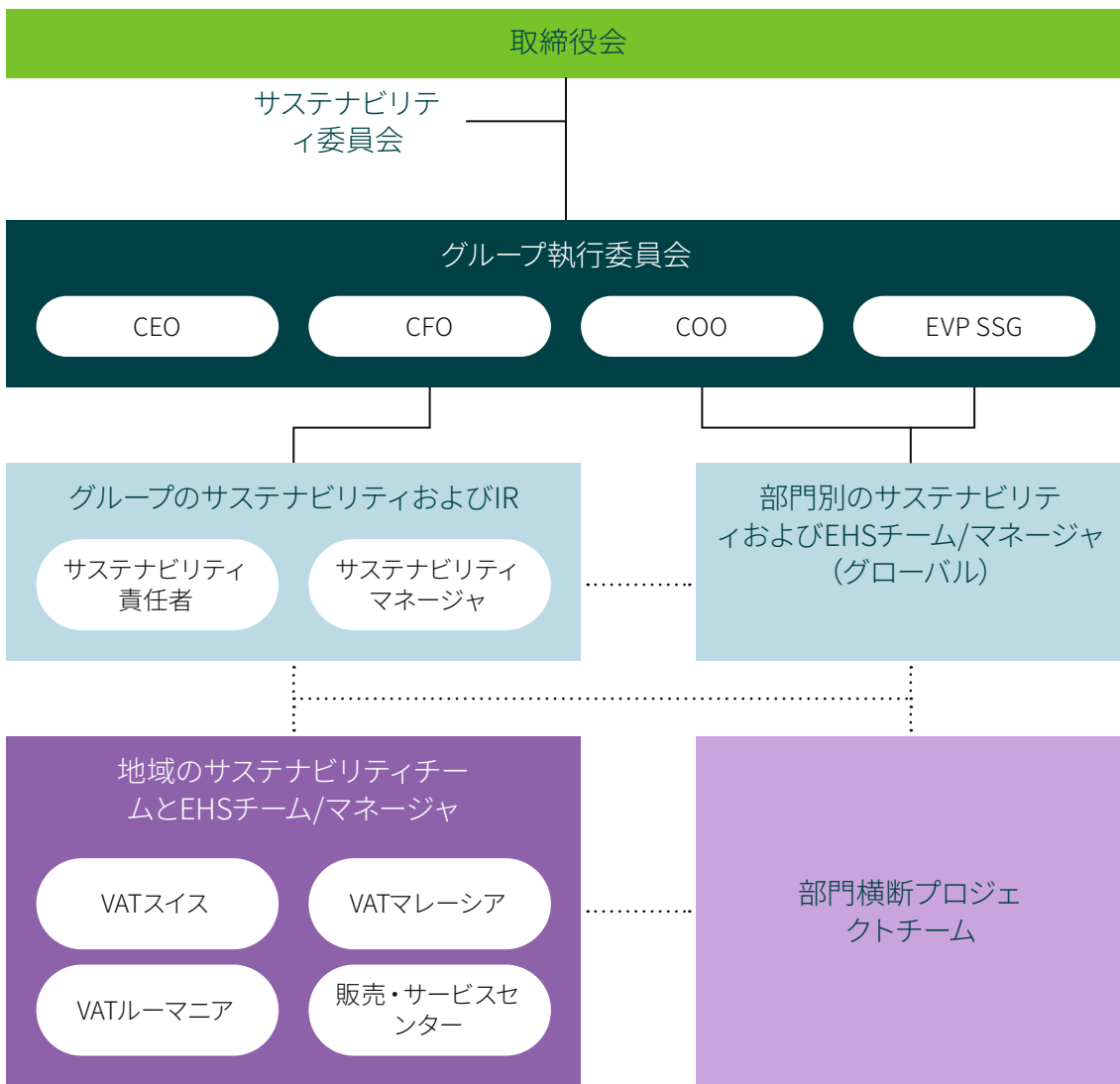
### 処理別廃棄物量

単位:トン	2024	2023	2022	前年比
リサイクル/再利用された総廃棄物量	3,960.6	3019.6	3360.1	31%
総廃棄物量	1,249.0	1513.8	1516.0	-17%
埋め立て廃棄物量	320.0	596.5	257.2	-46%
エネルギー回収を伴う焼却廃棄物量	928.9	917.4	835.9	1%
エネルギー回収を伴わない焼却廃棄物量	0.0	0.0	216.7	0%
データカバー率 (社員に占める割合)	95%以上	95%以上	95%以上	

## ガバナンス

VATの全社的なサステナビリティの取り組みは、取締役会に新設されたサステナビリティ委員会の主導の下で進められます。また、すべての関連部門を

横断的に、かつグループレベルでサステナビリティの課題に取り組む常勤の専任リソースの育成に投資しています。



## 取締役会 (BoD)

VATが展開する事業の最終的な方向性と、VATの経営を委託されたグループ執行委員会の監督は取締役会に委ねられています。

## 取締役会のサステナビリティ委員会

VATのサステナビリティに関するあらゆる事柄について指針を示し、その実施状況を監督することを目的として、取締役会のメンバーで構成されるサステナビリティ委員会を2024年に設立しました。

## グループ執行委員会

CEOは、コンプライアンス部門から日常的に支援を受けながら、責任ある業務遂行に関する方針の実施状況を監督します。一方、サステナビリティの責任はCFOに委ねられています。グループ執行委員会に支払われる変動型の短期インセンティブは、特に当社のサステナビリティ業績によって決まります。

## グループのサステナビリティおよび投資家向け広報活動

運営面では、サステナビリティの取り組みはCFO直属のグループサステナビリティチームの主導の下、VAT社内の各地域・各部門の専門家の協力を得ながら進められています。

## 部門別のサステナビリティおよびEHSチーム (グローバル)

サプライチェーンを対象としたサステナビリティチームは、社会的責任、環境活動、倫理的な業務遂行、および気候変動に関連する排出削減の観点から当社の期待と規制要件を満たすよう、VATのサプライチェーンに働きかけます。それに対して環境・衛生・安全 (EHS) チームは、啓蒙活動を企画し、業務管理の手順を徹底し、方針を定め、その遵守を監督することで安全文化を推進します。

## 地域のサステナビリティチームとEHSチーム

サステナビリティに関する事柄、特に環境・衛生・安全プロセスに関する地域ごとの責任は専任のリソースに委ねられています。一方、サステナビリティのビジョン全体の裏付けとなる具体的な成果を達成する役割として、プロジェクトチームが設置されています。

## 組織内でのガバナンスの徹底

VATの行動規範は、最高水準の誠実さを守り続けるとともに、国内外の法規制を遵守することを目的としています。不正行為はVATのコンプライアンスホットラインを通じて匿名で報告でき、差別や報復から通報者を保護する仕組みが確立されています。

## VAT管理システム

VATは、ISO 9001および14001に準拠する品質面および環境面の統合マネジメントシステムについて、ISOの認証範囲に基づいて外部機関により認証を受けています。当社の14ある国内子会社<sup>1</sup>のうち7社を対象にISO 9001:2015と14001:2015の認証を取得しており、この認証に従って働いている社員の割合は95%を超えます。

**詳しくは、サステナビリティレポートの75～82ページと年次報告書をご覧ください。**

<sup>1</sup> COMVATおよびVAT Group AGを除く

# サステナビリティの目標








人

分野	目標	現在の値	状況
健康、安全、ウェルビーイング			
	2026年までに事故の重大度 <sup>1</sup> を10未満に維持する	12.9	順調に進行中
	2025年までにISO 45001 (労働安全衛生) マネジメントシステムを構築する	該当なし	新たな目標 - 計画中
			
人権			
	すべてのVAT製造拠点で人権リスクアセスメントを実施する	該当なし	新たな目標 - 計画中
	社員の95%以上を対象に、人権に関するトレーニングを実施する	該当なし	新たな目標 - 順調に進行中
包括的な職場			
	新入社員に占める女性の割合を2027年までに24%、2030年までに25%に引き上げる	28%	達成済み
	役職に占める女性の割合を2027年までに25%に引き上げる	14%	再検討中
サプライチェーンの労働者			
	2025年にサプライチェーンのRBAアセスメントをサプライヤーの80% (支出額換算) で実施する	該当なし 73%	新たな目標 - 計画中
	2025年までに少なくとも90%、2026年には100%のサプライヤーがVATのサプライヤー行動規範に署名する		新たな目標 - 順調に進行中
社会への影響			
	2029年までに社員の30%が、VATが主催または支援する社会活動に参加する	21%	新たな目標 - 順調に進行中
			

1 労働災害による休業事故 (LTA) /1,000人当たり



## 地球環境

分野	目標	現在の値	状況		
気候変動					
			2025年までにスコープ1と2の排出量を50%削減する (2022年比)	-81%	達成済み
			2033年までにスコープ3の排出量をSBTiに従って削減する (2023年比)	該当なし	新たな目標 - 順調に進行中
水への影響					
			2025年までに各VAT製造拠点で水ストレス評価 <sup>1</sup> を実施する	該当なし	新たな目標 - 計画中
エネルギーの使用					
			2027年までに、VATで消費される再生可能エネルギーの割合を90%以上に引き上げる	85.6%	順調に進行中

1 水ストレス評価は、個々のサイトが水資源に依存し、または水資源に与える潜在的な影響に基づいて、運営上のリスクを評価することを目的としています

## 実績

分野	目標	現在の値	状況	
収益性の高い成長				
		2025年末までに売上の20%について、サステナビリティと循環性に関する製品固有の情報を顧客に提供する	17%	新たな目標 - 順調に進行中
循環型経済				
		長寿命化と製品循環性の促進により、2029年までにVATのサービス提供の価値を向上させる	対応済み	新たな目標 - 順調に進行中
資源効率				
		2025年までにVATの全製造拠点における金属スクラップのリサイクル率を100%に引き上げる	100%	達成済み
サステナブルな技術の実現				
		2029年までに、研究開発を進歩させて、サステナブルな技術におけるソートリーダーシップを確保する	対応済み	新たな目標 - 計画中
レジリエンス				
		2025年までにサステナビリティに関するリスクの緩和計画を策定し、グループ全体のリスク管理プロセスで管理する	該当なし	新たな目標 - 計画中
		2025年までに95%以上の社員がサイバーセキュリティトレーニングを修了する	86%	新たな目標 - 順調に進行中
		不正行為の確認件数をゼロに維持する	0	
		2025年までに、報告された内部告発の100%を調査し解決する	100%	新たな目標 - 順調に進行中

# お問い合わせ

この報告書は、英語、中国語、日本語、韓国語、ルーマニア語、およびマレー語で利用可能です。

詳細は、以下の担当者までご連絡ください。

VAT Group AG  
T +41 81 771 61 61  
vatgroup.com

サステナビリティおよび投資家向け広報活動  
Michel R. Gerber  
T +41 81 553 70 13  
sustainability@vatgroup.com

デザイン  
MetaDesign  
metadesign.com

レイアウト/制作  
Hilda Ltd.  
hilda.ch

出版プラットフォーム  
Management Digital Data AG  
mdd.ch

## 将来の見通しに関する記述

本書に記載されている将来の見通しに関する記述は、結果が予想と大幅に異なる可能性のある特定の要因が存在するため、全体が条件付きの内容として記述されています。本書に記載されている記述のうち、過去の事実に関する記述以外のもの（「確信している」、「計画している」、「予測している」、「期待している」、「推定している」、およびこれらに類する表現を含む）は、将来の見通しに関する記述とみなされず、将来の見通しに関する記述には、本質的に既知および未知のリスク、不確実性、および偶発的な要因が含まれます。これは、これらの記述が将来起こり得る出来事に関連していたり、将来起こり得る状況に依存していたりするためであり、実際の結果、実績、または達成度は、このような将来の見通しに関する記述で明示または暗示された内容と実質的に異なる結果となる可能性があります。こうしたリスクや不確実性の多くは、将来の市場状況や為替変動、他の市場参加者の行動、当社の情報技術システムの性能、セキュリティ、信頼性、当社が事業を展開する国で起こる政治的、経済的、または規制に関わる変化、経済的または技術的な動向や状況の変化など、当社が制御できない範囲の要因や、正確に予測できない要因に関連しています。そのため、投資家の皆様におかれましては、こうした将来の見通しに関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

法律で義務付けられている場合を除き、VATは本レポートの日付以降に発生した事態を受けて将来の見通しに関する記述を更新する意図または義務を一切拒否します。

情熱。精密さ。純粹さ。

# VATが2025年に 重視する取り組み

サステナビリティ戦略を実施し、日常業務に定着させ、目標に向けて取り組むこと。これが私たちに課せられた2025年の最優先課題です。

VATは、ステークホルダーの皆様と積極的な関わり合いを続けながら社内の対話を促進することで、サステナビリティの取り組みを一丸となって前進させていきます。また、社外の人権リスクへの取り組みとして、デューデリジェンスとサプライヤーエンゲージメントの能力を強化していきます。新たなマテリアリティ評価を導入することで、当社がサステナビリティ関連の事項に与える影響について認識を高めます。また、当面の排出削減目標の設定に向けて前進し、SBTiに対する当社の責任を果たします。

私たちは環境、社会、財務面の問題にバランスよく対処しながら、サステナブルに価値を生み出し、長期的な成長の促進を目指していきます。